

三四労の会 第20回 年末学習交流会を開催



12月7日、三四労の会は第20回年末学習交流会を国労大阪会館で開催。学習会では建交労の荻田書記長を講師に「何故、物流が滞るのか？」をテーマに、2024年問題や物流職場のたたかいなどについて学びました。また、秋季年末闘争や春闘準備についての交流を行いました。

仲間を増やし職場・地域から非正規の運動をつくらう！



非正規労働者部会は、12月8日に第13回総会を国労大阪会館にて開催。議案が採択され、「非正規の要求実現は、非正規の仲間の力で仲間を増やし職場・地域から非正規の運動をつくっていく」とアピールを確認して総会を終えました。

ガザ・ウクライナに平和を



日本が太平洋戦争を開始した12月8日、母親大会連絡会が難波で「赤紙」を配る宣伝を行い、大阪労連からも参加しました。弁士は、「ガザ攻撃、ウクライナ侵攻の中止を」、「憲法9条を守り、いかした政治と外交を」など訴えました。「赤紙」を見入る若者もいました。

春闘学習&団結望年会開催！ 大阪市地区協議会



大阪市地区協議会は12月21日、国労大阪会館で「春闘学習&団結望年会」を開催。ジャーナリストの西谷文和さんを講師に「ウクライナとガザの紛争の現状や万博・カジノの問題」を学習しました。参加者から「戦争と万博、違う話だがつながってる」との感想が寄せられました。

ろーれんフラッシュユ



維新の会上田府議との懇談

大阪労連は、12月1日の統一行動をかわきりに、12月14日に公明党、12月22日に立憲民主党との懇談を行い、府内の国



運動を広げて、万博・カジノ建設中止につなげよう

大阪労連が加盟するカジノに反対する大阪連絡会は12月19日、国に対し

国労大阪会館を 研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町 2-2

大阪労連で意思統一し、地域と産別が一体となり全国一律制度など最低賃金改正に向けた国会議員の地元事務所や府議会議員との懇談が各地域で行われています。

労働者の賃金が上がっていかない、もっと上げないとやる気が起らない、上げるべきだ。中小企業支援とセットで」(維新の会・府議)

未加入の組織の参加も生まれてきています。引き続き、地域と産別が一体となって国会議員や府議会議員との懇談を進め、最賃法の改正に向け世論と運動を広げていきます。

最低賃金法改正に向けた各地域でのとりくみ！

議員がいるすべての政党との懇談を実現しました。また、地域の行動では、地域労連に

新年 あいさつ 要求と団結に確信をもって声をあげよう 全大阪労働組合総連合 議長 菅 義人



明けましておめでとうございませう。新年早々の能登半島地震は驚きでした。犠牲者のご冥福をお祈りすると共に、国を挙げて被災者・被災地への支援を進めるよう求め、大阪からの支援も具体化したいと思

さて、いままも続く、ロシアのウクライナ侵略とイスラエルのガザ攻撃は即時中止すべきです。日本では改憲策動、武器輸出解禁、物価高と暮らしの悪化、格差と貧困が広がり、大軍拡・大増税やマイナ保険証強制・健康保険証廃止、労働者保護法制の弱体化も狙われています。

公契約大阪懇談会 第5回総会

12月10日、大阪労連が加盟する公契約法を実現する大阪懇談会



講演する岡田先生

「公共調達」を地域経済振興策及び行政サービス

署名1がそれぞれ45筆集まりました。万博の建設費の引き上げが連日報道される中で、改めて万博が必要なのか問われる状況になっていきます。

公契約条例の制定で 地域経済の活性化を！

記念講演で岡田さんは「厳しい状況にある地域経済を再生するために、自治体と地域づくりを担う中小企業との戦略的連携が必要である。そのためにも、自治体側で

域経済の活性化につながる」と述べました。自治労連の久保副委員長からは「国に対して、公共サービスは原則として自治体の直営で行わせ、委託する場合でも公契約を適正化し、公的責任を後退させることのない措置をとるよう求めていく」、出版労連の永石委員長からは「教科書の値段が大学ノートより安くなっている。もっと運動して教科書の値段を上げないと賃金が上がらない」などの他、大建労・大商連・建設共闘からも発言がありました。最後に「大阪でも公契約条例を制定させよう」と運動の目的を確認しました。